
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」第54号(2018.12.10)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第54号をお届けします。

今回の活動組織の活動紹介では、ため池を地域の財産と位置付けて、ため池クリーンキャンペーンやため池の役割を学ぶ環境体験学習に取り組んでいる組織と地域住民の全員が構成員となって住みよい環境に向けて活動に取り組んでいる組織を紹介します。

事務局からは、「連載：事例研究会」と多面的機能支払交付金第三者委員会の開催報告、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の結果公表、「ジビエフェア（冬）」の開催情報についてお知らせします。

---第54号の目次-----

1. 活動組織の活動紹介

☆江井ヶ島^{えいがしま}ため池協議会（兵庫県明石市^{あかし}）☆

☆七^{しち}覚^{かく}むらづくり協議会（山梨県^{こうふ}甲府市）☆

2. 事例研究会～シリーズ2：生態系の保全（原宿の環境をよくする会）～

3. 多面的機能支払交付金第三者委員会の開催報告

4. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の結果公表！

5. 「ジビエフェア（冬）」を開催中です！

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

■ ～江井ヶ島^{えいがしま}ため池協議会(兵庫県明石市^{あかし})～ ■

～地区概要～

兵庫県の南部に位置する明石市の西部にある江井ヶ島地区を拠点に活動。活動範囲は、田 61.5ha、畑 0.5ha。対象施設は、農道 5.9km、開水路 21.1km、パイプライン 7.0km、ため池 2箇所。

～主な取組～

- ◎本組織では、ため池を「地域の財産」と位置付けて、地域住民や地元企業、漁協等の農業者以外の団体と協力してため池を核とした環境保全活動を展開しています。
- ◎毎年1月に「ため池クリーンキャンペーン」としてゴミ拾いや草刈り等の活動を行っているほか、農業者と漁業者の里海が連携して、ノリの育成に必要な栄養分を含むため池の泥土を海へ流す「ため池一斉放流」の取組を実施しています。
- ◎また、環境教育にも力を入れており、近隣の小学校を対象に、ため池や田んぼの役割を学ぶ環境体験学習や、皿池（平地の窪地の周囲に堤防を築いて造られたため池）に生息するカメや希少植物であるオニバスの観察会を実施しています。
- ◎さらに、刈取り後の水田や転作田でレンゲ、ヘアリーベッチ、コスモスを栽培し、見頃を迎える時期に合わせて、摘み取りと鑑賞会を行っており、300人程度の地域住民等が訪れています。
- ◎今後は、ヘアリーベッチを緑肥として活用した環境保全型農業による米づくりや、ヘアリーベッチの花から採れたハチミツを利用するなど、6次産業化にも力を入れていきます。



「一斉放流」後のため池



ため池教室



オニバスの観察会



レンゲ、ヘアリーベッチの摘み取り

【江井ヶ島ため池協議会】

■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

■ ～七覚^{しちかく}むらづくり協議会(山梨県^{こうふ}甲府市)～ ■

～地区概要～

山梨県中部の甲府市の南部に位置する七覚地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 1.5ha、畑 13.3ha、対象施設は、農道 1km、水路 1km。

～主な取組～

- ◎本組織では、地域住民の全員が構成員となっており、住みよい環境を守り育て、次の世代へ引き継ぐための活動を協力し合いながら行っています。
- ◎活動の中で、耕作放棄地を活用して、そばなどの栽培を行っています。さらに、ここで収穫したそばを用いて、「七覚そばまつり」を開催しています。まつりでは、そば打ち体験教室を実施しており、参加者は自分で打ったそばをその場で食べることができます。
- ◎その他にも、市から生コンクリートの原材料支給を受け、毎年 50m 程度の農道の舗装を行っており、地域が住みよい環境となるよう活動を行っています。
- ◎これらの活動を通じて、世代間の隔たりがなくなり、地域の将来を皆で考えるようになりました。今後は、農地の保全活動を継続するとともに、6次産業化等を見据えた新たな取組を進めていきたいと考えています。



耕作放棄地を活用して栽培



七覚そばまつり



農道をコンクリート舗装で再生

■2. 事例研究会シリーズ～生態系の保全(原宿の環境をよくする会)～ ■

平成 30 年 10 月末に開催した事例研究会の発表の中から、ビオトープづくりを中心に生態系の保全に取り組んでいる茨城県笠間市の「原宿の環境をよくする会」を紹介します。

本地域では近年都市化が進み、農業者の高齢化や後継者不足で田畑や山林が原野化していました。その結果、かつて地域で生息・生育していたメダカやサギソウなどの野生の動植物が激減してしまいました。また、農地周辺の藪にカメムシが大量に繁殖し、農作物へ被害を及ぼす状況が発生するなど、環境整備に取り組まなければ農地を維持できない状況でした。そこで、地区の農地保全と環境保全の両立を目指し、「原宿の環境をよくする会」を立ち上げました。

ビオトープでは整備対象地域の日照や土壌条件などの環境に合わせて保全対象の動植物を定め、その生物が持続的に生息できる環境づくりを進めています。整備の際は、藪を全て刈り払うのではなく、一部を刈り残すことで、元々あった生態系が消失しないように配慮しています。当初 1,100m²だった整備範囲は現在 27,000m²を超え、536 種類もの動植物の生息・生息が確認されています。

各ビオトープの名称は保全対象の動植物からつけられており、例えば「メダカンボの里」はもともと休耕田の湿地だったことから、水生動植物を保全するビオトープとしたものです。雑木を伐採し、木道や池を設置したところ、メダカの群れや魚を狙うカワセミが見られるようになっただけでなく、平成 18 年からトウキョウサンショウウオの産卵が毎年確認されています。

昆虫観察会や釣り大会など、ビオトープを利用したイベントには毎回多くの親子連れが参加しており、非農業者と農業者が接する機会、農用地保全の大切さを学ぶきっかけとなっています。さらに、県内外の組織、団体も視察に訪れ、都市住民との交流も盛んになっています。

今後はさらにビオトープの敷地を拡大し、農地まわりのよりよい環境づくりを目指し、環境教育にもより力を入れていきます。

詳しくは、HP に掲載した発表資料をご覧ください。



メダカンボの里（整備前）



メダカンボの里（整備後）



釣り大会

▽発表資料はこちらから▽

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/jirei_kenkyu_kai/H30.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■3. 第 11 回多面的機能支払交付金第三者委員会の開催報告 ■

農林水産省は 11 月 26 日（月）、「第 11 回多面的機能支払交付金第三者委員会」（座長：中嶋康博 東京大学大学院農学生命科学研究科教授）を開催しました。

今回は、平成 26 年度の制度創設から 5 年目となり施策の評価を取りまとめるため、多面的機能支払交付金の交付状況の点検や効果の評価等について第三者委員のご意見をうかがいました。

委員からは、「地域資源の適切な保全活動への寄与や農村環境の保全・向上等の効果が見られ、引き続き共同活動に対する支援が必要」とされる一方、「対象組織や市町村における事務作業の負担軽減が必要」等のご意見がありました。

施策の評価については、平成 31 年 3 月上旬頃に開催を予定している第 12 回第三者委員会に諮り、3 月末をめどに公表することとしています。

◎第三者委員会資料はこちらから（農林水産省 HP）

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/n_sansya/index.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■4. 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の結果公表！ ■

本メールマガジンの第 42 号（平成 30 年 6 月 11 日発行）で募集案内を行った第 5 回「ディスカバー農山漁村の宝」について 11 月 22 日（木）にグランプリと特別賞の選定結果が公表されました。

「ディスカバー農山漁村の宝」は、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信するものです。

また、選定された場合、農林水産省ホームページ等での活動の紹介や様々なイベントへの出展支援を通じて、全国的な情報発信が行われます。

今回は、多面的機能支払の活動組織は選定されてはいませんが、選定された地区の事例を活動組織の取組の参考にしてみてもはいかがでしょうか。

▽結果はこちらから（農林水産省 HP）▽

<https://www.discovermuranotakara.go.jp>

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■5.「全国ジビエフェア(冬)」を開催中です！ ■

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に向けて、鳥獣被害の防止は重要な取組の一つですが、農林水産省では、鳥獣被害防止の支援策として、地域振興にもつながる捕獲鳥獣のジビエ利用を応援しています。

その一環で夏に開催して好評でした「全国ジビエフェア(夏)」の第2弾を、12月10日(月)から来年2月10日(日)まで開催します。期間中は全国各地の約1,000店舗の飲食店で様々なジビエ料理が提供されます。この機会においしいジビエを楽しんで下さい。⇒

<https://gibierfair.jp>

また、野生の鳥や動物の食肉“ジビエ”をもっと身近に感じていただくため、飲食店等さまざまな情報を発信するポータルサイト「ジビエト」を開設していますが、この度、ジビエのPR動画をアップしましたので、是非ご覧下さい。⇒ <https://gibierto.jp/>

【農林水産省 鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室】

■編集後記■

今年も残すところ1ヶ月を切りました。年末にかけて仕事や忘年会などで慌ただしい日が続きますが、気分はどこか浮ついてしまいます。しかも今はクリスマス前ということもあり、私の家の最寄り駅周辺はイルミネーションで彩られています。大学生の頃は、イルミネーションを見る機会がほとんどなく特別なものと感じていたのですが、今では、仕事終わりの帰り道で見ることができ、どんなに疲れていても、明日もがんばろうと明るい気持ちになります。残り一ヶ月弱は、クリスマスモードに元気をもらって、一生懸命働こうと思います。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_sihara_i/nouson_furusato_hozen/index.html



バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！

◇平成30年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どんどんご活用ください！！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、大木）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
